

# ★ちば県議会だより

党派別議員数

自民党	52人
民進党	19人
公明党	8人
共産党	5人
市民ネット・社民・無所属	4人
千翔会	2人
千葉県民の声	1人
いんば無所属の会	1人
無所属	1人

定数95人 現員93人  
(平成29年7月12日現在)



県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉県中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043 (223) 2523 FAX 043 (222) 4073 千葉県議会 検索

## 六月定例会県議会の あらまし

六月定例会県議会は、六月十五日に召集され、七月十二日までの二十八日間、にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、平成二十九年年度補正予算案や条例の一部改正案など議案二十件、審査請求に関する諮問二件、報告十六件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

六月二十一日から六日間にわたり行われた代表質問及び一般質問は、二十四名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災・災害対策、道路問題、教育問題等について活発な議論が展開されました。

六月二十八日の一般質問終了後、諮問二件を先議とし、総務防災常任委員会にて審査した後、本会議において、審査請求について棄却すべきである旨を答申することに決定しました。

六月三十日、七月三日には、予算委員会が、七月四日から四日間にわたり各常任委員会が開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

最終日には、各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

その後、追加上程された人事案件三件が同意され、続いて、議員発議案(意見書)十七件のうち七件を可決し、今定例会に付議されたすべての案件の審議を終了しました。

また、各常任委員会及び議会運営委員会において、任期満了に伴う委員の選任及び正副委員長の互選が行われました。  
最後に宇野裕議長、木名瀬捷司副議長の辞職により、正副議長選挙が行われました。

### 6月22日(木)



共産党  
まるやま しんいち  
丸山 慎一 議員  
(船橋市)



公明党  
ふじい ひろき  
藤井 弘之 議員  
(松戸市)

### 6月21日(水)



民進党  
たかはし ひろし  
高橋 浩 議員  
(木更津市)



自民党  
いしげ ゆきゆき  
石毛 之行 議員  
(銚子市)

## 代表質問

※質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

- 知事の政治姿勢
- 東京オリンピック・パラリンピック
- 成田空港の更なる機能強化
- 子ども・子育て支援
- 医師・看護職員の確保
- 農林水産業の振興
- 知事の政治姿勢／新総合計画の策定、次期「財政健全化計画」
- 東京湾アクアラインの通行料八百円恒久化及び高速道路ネットワークの拡充
- 地域ブランド力向上のための知的財産の活用戦略
- 農地中間管理事業の推進
- ちばアクアラインマラソン
- 知事の政治姿勢
- 水害・高潮対策
- 障害者雇用
- 肝炎対策
- 犯罪被害者支援条例
- 性犯罪・性暴力ワンストップ支援センター
- 知事の政治姿勢／3期目の県政運営、憲法改定の動きについての認識
- 不要不急の大型開発の転換を成田空港の「更なる機能強化」
- 国民健康保険の広域化
- 少人数学級と教員未配置

## 議長、副議長紹介



第71代議長  
おだか のぶと  
小高 伸太 議員  
(勝浦市・夷隅郡 6期)



第69代副議長  
すずき まさとし  
鈴木 昌俊 議員  
(市原市 4期)

7月12日(水)の本会議最終日、第71代議長に小高伸太議員、第69代副議長に鈴木昌俊議員が選出されました。就任にあたり、小高議長は「真の豊かさを実感できる県民生活を実現するため、議会機能の一層の充実強化を図り、620万県民の負託と信頼に応えるため、誠心誠意その職務に当たりたい。」と抱負を述べました。また、鈴木副議長は「議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしたい。」とあいさつしました。

## ちば中学生県議会を開催

95校、189名が参加

6月15日(木)の本会議散会後、中学校社会科の「民主政治と政治参加」の体験学習として、県内の公立・私立中学校の生徒による、ちば中学生県議会が開催されました。

森田知事から県政の概要説明があり、その後、10名の中学生議員が登壇し、県の施策等について質問。関係課長等が答弁を行いました。

最後に、「『災害に対してしっかりと対策をし、被害を出さないちばづくり』に関する決議」を全員一致で可決し、ちば中学生県議会は終了しました。



熱心にメモをとる中学生議員

## 「災害に対してしっかりと対策をし、被害を出さないちばづくり」に関する決議

私たちの住む千葉県はとても自然豊かであることが大きな魅力ですが、その反面、台風や土砂災害、川の氾濫、地震や津波、沿岸地区の液状化現象など、身近なところに災害があります。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県も被災地の一つとなってしまう、津波により多数の尊い命が失われ、また、現在も行方不明となっている方がいるほか、建物が壊れたり、液状化現象により生活に支障が生じるなど大きな被害がありました。

残念ながら、このような自然災害をなくすことはできません。しかし、県民それぞれがあらかじめ防災対策を行えば、被害を最小限に食い止めることは可能だと考えます。

今後発生するかもしれない首都直下地震や南海トラフ地震などを想定し、どのような対策を取れば被害を最小限に抑えられるのかを、国や県、市町村などの行政だけに任せるのではなく、私たち中学生をはじめとした県民一人ひとりがしっかりと再確認考える必要があります。

そのためには、まず、災害についての正しい知識を身につけることです。現在学校等で行われている避難訓練はもちろん、消防士・公務員・実際に被害に遭われた方など、より災害に詳しい方々からお話を

伺い、災害の恐ろしさや、実際の災害で起こり得る被害とその対策について、あらかじめ考えておくことが大切だと考えます。

また、災害はどんな場面で起こるかわからないので、学校や家庭において避難経路や方法、緊急連絡手段を確認するとともに、被災後の生活など、災害時に想定される不安や課題を共有し、対応を話し合い、防災意識を高めることも大事です。

こうしたことから、行政や地域の方々から災害に対する正しい知識の周知啓発を行っていただき、また、災害時には、私たち中学生をはじめとする県民一人ひとりが、それぞれの役割を認識して行動できるようにすることによって、災害が発生した場合に大きな被害を未然に防ぎ、より一層安心して暮らすことができる「災害に対してしっかりと対策をし、被害を出さないちばづくり」を実現すべく努力していくことを、ちば中学生県議会として、強く希望します。

以上、決議する。



平成29年6月15日 ちば中学生県議会



# 代表質問から

## 財政

【問】平成二十九年度六月補正予算は、どのような基本方針のもとで、何に重点をおいて編成したのか。

【答】骨格予算として編成した当初予算に続く「肉付け予算」として、政策的な経費や新規事業、投資的経費のうち新規着手などを計上している。その財源として、当初予算で計上留保した地方交付税のほか、国庫支出金や地方債、財政調整基金等を活用することにより編成した。具体的には、

①子育て支援や医師・看護師の確保など、喫緊の課題に対応する事業

②産業の振興や道路ネットワークの整備

など、今後の本県の発展に不可欠な事業をはじめ、「医療・福祉の充実」「くらしの安全・安心の確立」「農林水産業の振興と社会基盤づくり」など各分野にわたり、「くらし満足度日本一」の実現に向けた事業に予算を重点的に配分した。

## 東京オリンピック・パラリンピック

【問】競技会場周辺の輸送、セキュリティ等の経費負担について、どのように考えているのか。

【答】東京都外の会場周辺の輸送、セキュリティ対策については、大会時の都市活動や市民生活に与える影響を最小化する上での業務を、関係自治体を実施することが確認された。

県としては、自治体が行うこれ

らの業務については、自治体本来の行政サービスに限定されたものと考えており、それ以外の業務については、立候補ファイル及び大会開催基本計画を基本とし、組織委員会が実施し、費用を負担するものとする。

東京都は、今後、負担者を含め、業務内容及び経費について、整理・精査を行っていくとしているが、県としては、この考え方を、引き続き、堅持していく。

## 成田空港

【問】機能強化の検討について、今後、どのように対応していくのか。

【答】住宅等の建築が規制される、特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法の区域の設定にあたり、地域住民の暮らしのつながりや一体性が、可能な限り維持されるよう、集落の単位をこれまでより大きな単位で捉え、地元市町の意向も考慮しながら、区域設定案を作成していく。

さらに、航空機落下物対策として成田空港周辺地域独自の補助制度を創設するとともに、空港周辺の地域振興策の方向性・内容を掲げた「基本プラン」を作成し、周辺市町や空港会社などと具体的な協議を開始する。

## 保育士

【問】保育士の確保・定着のため、本県としても、さらなる緊急的な対策が必要と考えるがどうか。

【答】県では、ちば保育士・保育

所支援センターによる就職支援、国の基準を上回る保育士の配置に対する助成、潜在保育士の掘り起こし事業などに加え、平成二十九年一月からは修学資金等貸付事業を開始し、保育士の県内就業のさらなる促進を図ってきた。

また、県独自の対策として、市町村の制度の新設又は拡充を要件とし、民間保育士の給与月額に、県と市町村が連携して二万円を基準に上乗せする補助制度を創設することとした。本制度は、職位を問わず一律の加算を行うもので、確実に給与改善につながり、県内への保育士の就職・定着に効果的であると考えている。

今後も、保育現場を支える保育士の確保・定着のため、市町村と協力して取り組んでいく。

## 看護職員

【問】看護職員の確保に向けて、より積極的に取り組んでいくべきか。

【答】平成二十九年度は、県内での就業を希望する看護学生に貸与する、保健師等修学資金の新規貸付枠を、三十名拡大し、既存分と合わせ五百九十名とした。

平成二十八年三月卒業生のうち、修学資金を貸与した学生の県内就業率は約八九%で、制度を利用しない学生の就業率約六四%を大きく上回る状況にあることから、今後も本制度の活用により看護学生の県内就業を促進するとともに、定着促進や再就業対策なども含め、看護職員確保に積極的に取り組んでいく。

## GAP

【問】農業生産工程管理「GAP」

の取り組みを、どのように進めていくのか。

【答】農業者がGAP\*に取り組むことは、適正な在庫管理や農作業事故の防止など、効率的な農業経営の確立につながるものであり、その推進は重要であると認識している。

そこで、GAP指導者の育成、農業者に対する研修会の開催、認証取得に必要な経費の支援などのほか、農業者の取り組みを県が確認する千葉県版GAP制度(ちばGAP\*)を創設し、東京オリンピック・パラリンピックへの農産物供給や、国際的に通用するGAPの認証取得の支援を行っていく。

現在、平成三十年二月の運用開始に向けて、制度を試行するテスト産地の選定作業を進めている。

今後も、農業者の理解を得ながらGAPの普及に取り組む、千葉県農業のレベルアップを図っていく。

GAP：農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に即して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。

※ちばGAP：農業生産現場における食品安全・環境保全・労働安全の確保に加え、国際水準GAP認証取得の足掛かりになるよう人権保護などの項目をオプションとして定めた県独自の新基準

## アクアライン通行料

【問】今後、アクアライン八百円恒久化をどのように推進していくのか。

【答】「アクアライン割引」の継続により、観光振興、企業立地の促進、物流の効率化が図られるなど、人とモノの流れが活発化し、本県に大きな経済効果をもたらしている。

県としては、圏央道と一体となつて、本県全体にさらなる経済効果を波及させるため、国及び東日本高速道路株式会社、「アクアライン割引」の継続について要望しているところであり、引き続き、通行料千八百円の継続に努めていく。

## アクアラインマラソン

【問】平成三十年度の開催に向け、どのように取り組んでいくのか。

【答】「ちばアクアラインマラソン」は、青い海と空に囲まれた「東京湾アクアライン」を走れることが最大の特徴であり、千葉の魅力や国内外へ発信するなど、地域経済の活性化にも大きな貢献を果たしてきた。

現在、平成三十年秋の開催\*に向けて、関係者との調整など、準備を進めているところであり、今後、具体的な内容について、検討することとしている。

関係するすべての人が安心して楽しめる、心に残る素晴らしい大会を目指し、「チーム千葉」一丸となつて取り組んでいく。

## 犯罪被害者支援

【問】犯罪被害者支援条例について、現行条例の見直し、あるいは犯罪被害者支援に特化した条例の制定を行うべきかと思うがどうか。

【答】本県では、平成十六年に「被害者等に対する支援に関する指針」を制定し、被害者に対する相談窓口の紹介や広報、二次被害を防ぐための啓発、被害者の実態や必要な支援に関する調査・研究など、犯罪被害者支援に関する県の施策を詳細に定めている。

県では、この指針を基に各種

の取り組みを進めているが、近年、犯罪被害者を取り巻く状況は、被害者の訴訟参加制度や性被害被害者への対応強化など、被害者の立場をより重視する方向へと変化している。

こうした状況を踏まえ、今後「指針」の見直しの検討を進める中で、条例見直しの必要性についても、検討していきたい。

## 教員多忙化

【問】状況を是正するため、学校ごとに個別的に改善を求めるなど、思い切った手立てが必要だと思ふがどうか。

【答】県教育委員会では、運動部活動のためのガイドラインを作成し、各学校に対して活動時間の適切な設定を要請するとともに、「多忙化対策検討会議」においても、部活動休業日の設定等、業務改善の進め方を各学校に示している。

また、平成二十九年一月には、国の通知を踏まえ、各学校の実情に合わせた適切な活動時間や休業日の設定について、改めて周知を図った。

現在、スポーツ庁において、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定を進めているところであり、県教育委員会としても、国の動きを踏まえつつ、ガイドラインの改訂などを検討していく。

### 可決・同意された議案

- ◆条例の一部改正(十一件)
- ▽職員退職手当に関する条例
- ▽千葉県県税条例
- ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▽使用料及び手数料条例
- ▽行政手続における特定の個人を

### 採択された請願

- ▽新井総合施設株式会社君津環境整備センター第三期増設計画に関するボーリング調査を求めることについて

### 可決された意見書

- ▽森林環境税(仮称)の早期創設を求める意見書
- ▽義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- ▽国における平成三十年教育予算拡充に関する意見書
- ▽ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書
- ▽警察官の増員に関する意見書
- ▽有害鳥獣対策の一層の拡充を求める意見書
- ▽ヒアリの上陸を許さないため、コンテナ内及びコンテナから積み荷を取り出した地域を徹底的に点検することを求める意見書

### その他(八件)

- ▽契約の変更(二件)
- ▽財産の取得
- ▽副知事の選任同意
- ▽監査委員の選任同意(二件)

識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

▽千葉県が「対策推進条例及び住民基本台帳法に基づく本人確認情報の利用及び提供に関する条例」

▽児童福祉施設に指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

▽障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

▽国立研究開発法人森林総合研究所宮農用地整備事業特別徴収金徴収条例

## 各常任委員会の 主な質疑から

### 総務防災常任委員会

**問** 平成三十年一月に行われる国民保護実動訓練に向け、準備状況はどうか。

**答** 平成三十年一月の実動訓練を念頭に、平成二十九年五月に実施した図上訓練の結果を踏まえ、国、千葉市、消防、警察、自衛隊などの関係機関と訓練項目やシナリオなどについてより実践的なものとなるよう、調整を進めている。

また、平成二十九年十二月には、県民を対象とした研修会を開催し、国民保護に関する啓発を行うこととしている。

### 総合企画水道常任委員会

**問** ちば野菊の里浄水場第二期施設整備事業の全体像はどうか。

**答** 高度浄水処理の導入、緊急時対策、環境対策等に配慮した施設整備を行うこととしている。施設の完成により、第二期施設と合わせ、日量二十四万六千立方メートルの給水能力となり、松戸市、市川市及び船橋市に居住の約七十万人に、より安全でおいしい水を安定して届けることが可能となる。

### 健康福祉常任委員会

**問** インフルエンザ予防のためには、免疫力を高めるなどの

努力をする必要があるのではないかと考えられているが、保健所等の役割も重要と考えるがどうか。

**答** 季節性と新型のインフルエンザに共通する予防対策として、咳エチケットの重視や具合の悪い場合は休むなど、通常のかぜと同様の対応が必要となる。各保健所では、医療機関、社会福祉施設、教育機関に対し、予防対策の重要性について啓発を行っている。

### 環境生活警察常任委員会

**問** 外来種特別対策事業におけるキヨンの生息状況調査とは、どのようなものか。

**答** 捕獲したキヨンに発信機を装着し、一年間に渡り行動調査を実施する。また、キヨンに適した捕獲方法を研究するとともに、捕獲期間を延長して集中的な捕獲を行う。

### 商工労働企業常任委員会

**問** 中小企業における事業承継の準備を早期に進めるため、県はどのように取り組んでいるのか。

**答** 平成二十九年度から新たに、(公財)千葉県産業振興センターや金融機関、商工団体等と連携したネットワークを構築し、アンケート調査を実施するなど、事業承継が早期かつ円滑に行われるよう支援していく。

### 農林水産常任委員会

**問** 国による米の生産数量目標の配分が平成三十年産以降なくなるが、今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 国が示す本県産米の需要量や、各市町村が把握している需要量を勘案した生産の目安となる数値を、千葉県農業再生協議会から、市町村の協議会に示すことにより、引き続き、需要に応じた米生産を推進していく。

### 県土整備常任委員会

**問** 予算の早期執行に向け、部としてどのように取り組んでいるのか。

**答** 県土整備部独自の取り組みとして、繰越予算を含めた当初予算に対し、上半期八割執行の目標を設定した。六月補正予算についても予算成立後に目標設定し、出先機関と本庁で構成する「公共事業進行管理調整会議」などでの進捗管理や意見交換等を通じ、計画的な早期執行に努める。

### 文教常任委員会

**問** 第二次千葉県特別支援教育推進基本計画でふやすこととされる、「総合的な機能を有する特別支援学校」とはどのようなものか。

**答** 知的障害だけに対応している学校を、知的障害と肢体不自由など、二つ以上の障害種に対応できる学校とし、小・中学校の通常の学級に在籍する障害をもつ児童生徒が、その

障害に応じて、通級による指導を受けられる学校などにしたるものとする。こうした学校を県全域に位置づけていくことにより、障害のある子どもが、これまで以上に居住地に近いところで支援を受けられるようになることを考えている。

## 千葉県議会ホームページ

県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

### 主な掲載内容

- 県議会議員の紹介 ○傍聴のご案内
  - インターネット中継(ライブ・録画)
  - 会議録検索 ○会議の概要
  - 議会図書室の利用案内
  - インターネット中継
- 本会議及び予算委員会のもようを過去3年分視聴できます。(スマートフォン・タブレット端末でも視聴可)



## 平成29年9月定例県議会 会期及び議事・委員会予定(素案)

月 日	議事・委員会予定	開議予定時間
9月14日(木)	開会日 <b>TV</b>	午前10時~
21日(木)	質疑並びに一般質問 <b>TV</b>	//
22日(金)	// <b>TV</b>	//
25日(月)	// <b>TV</b> (AMのみ)	//
26日(火)	//	//
27日(水)	//	//
28日(木)	//	//
10月2日(月)	常任委員会(健康福祉、文教)	//
3日(火)	// (総合企画水道、商工労働企業)	//
4日(水)	// (環境生活警察、県土整備)	//
5日(木)	// (総務防災、農林水産)	//
11日(水)	閉会日	午後1時~

※本素案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会にて協議されます。

**TV** …「チバテレビ」での生放送(手話通訳つき)があります。ぜひご覧ください。

## 議会において選任同意された委員・選出された議員

監査委員	君津広域水道企業団 議会議員	千葉県競馬組合 議会議員
中台 良男 (自民党) 石井 宏子 (民進党)	吉本 充 (自民党)	中村 実 (自民党)

(平成29年7月12日現在)

## 常任委員会委員

委員会名	総務防災	総合企画水道	健康福祉	環境生活警察	商工労働企業	農林水産	県土整備	文 教	
定数/現員	12 / 12	12 / 11	12 / 12	12 / 12	12 / 12	11 / 10	12 / 12	12 / 12	
委員長	中村 実 (自民党)	五十嵐博文 (自民党)	實川 隆 (自民党)	中沢 裕隆 (自民党)	石井 一美 (自民党)	三沢 智 (自民党)	小路 正和 (自民党)	斉藤 守 (自民党)	
副委員長	林 幹人 (自民党)	松下 浩明 (自民党)	伊藤 昌弘 (自民党)	鈴木 衛 (自民党)	伊豆倉雄太 (自民党)	木下 敬二 (自民党)	瀧田 敏幸 (自民党)	山本 義一 (自民党)	
委員	自 民 党	浜田 穂積	本清 秀雄	伊藤 和男	河上 茂	小高 伸太	酒井 茂英	宇野 裕	吉本 充
		佐藤 正己	本間 進	川名 寛章	山中 操	阿部 紘一	酒井 英	鈴木 昌俊	中台 良男
		木名瀬捷司	阿井 伸也	石橋 清孝	信田 光保	田中 宗隆	大松 重和	西田三十五	小池 正昭
		石毛 之行	武田 正光	佐野 彰	江野澤吉克	白井 正一	坂下しげき	鶴岡 宏祥	小池 正昭
		関 政幸		戸村 勝幸		今井 勝		森 岳	茂呂 剛
		田中 信行	横堀喜一郎	河野 俊紀	竹内 圭司	石井 宏子	石井 敏雄	高橋 浩	安藤じゅん子
		網中 肇	天野 行雄	磯部 裕和	野田 剛彦	鈴木 均	中田 学	松戸 隆政	大崎 雄介
委員	民 進 党	田中 信行	横堀喜一郎	河野 俊紀	竹内 圭司	石井 敏雄	高橋 浩	安藤じゅん子	
		網中 肇	天野 行雄	磯部 裕和	野田 剛彦	鈴木 均	中田 学	大崎 雄介	
		田中 信行	横堀喜一郎	河野 俊紀	竹内 圭司	石井 敏雄	高橋 浩	安藤じゅん子	
		網中 肇	天野 行雄	磯部 裕和	野田 剛彦	鈴木 均	中田 学	大崎 雄介	
委員	公 明 党	田村 耕作	塚定 良治	赤間 正明	藤井 弘之	仲村 秀明	秋林 貴史	横山 秀明	
				寺尾 賢	三輪 由美	丸山 慎一		加藤 英雄	
				山本 友子	ふじしろ政夫	入江 晶子			小宮 清子
								谷田川充丈	
委員	市 社 無	水野 友貴							
委員	千 翔 会	水野 友貴							
委員	一人会派 無所属議員	プリティ長嶋 (県民声)							

(平成29年7月12日現在)

## 議会運営委員会委員

定数/現員	16 / 16
委員長	山中 操 (自民党)
副委員長	西田三十五 (自民党)
委員	今井 勝 大松 重和 林 幹人 山本 義一 斉藤 守 坂下しげき 石井 一美 戸村 勝幸 (自民党)
	田中 信行 横堀喜一郎 松戸 隆政 野田 剛彦 (民進党)
	横山 秀明(公明党)
	丸山 慎一(共産党)
委員	入江 晶子(市社無) 水野 友貴(千翔会) プリティ長嶋(県民声) 岩井 泰憲(いんば) 川名 康介 (無所属議員)

(平成29年7月12日現在)

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

六月二十三日(金)



自民党 佐野 彰 議員 (千葉市中央区)

- 救急医療体制
- 鉄道問題
- 港湾
- 道路問題



公明党 阿部 俊昭 議員 (柏市)

- 「地方公会計」の導入の準備状況調査
- 重症心身障がい児・者の実態
- プログラミング教育の推進
- 千葉の魅力発信



自民党 瀧田 敏幸 議員 (印西市)

- 都心直結線 AED普及の基本計画
- 教育問題
- 千葉県子どもを虐待から守る条例



民進党 河野 俊紀 議員 (千葉市美浜区)

- 新千葉県総合計画等
- テロ対策
- がん医療等におけるゲノムに関する取組み
- 災害対策

六月二十六日(月)



千翔会 水野 友貴 議員 (我孫子市)

- 障がい者施策
- けやきプラザ
- 指定廃棄物
- ICT教育の環境整備と充実



自民党 山中 操 議員 (千葉市若葉区)

- 浄化槽の法定検査
- 上下水道料金の徴収一元化
- 空き家対策
- コンテナ貸し倉庫



自民党 小路 正和 議員 (いすみ市)

- 県立大原高校
- 海岸津波対策における九十九里有料道路の堤防かさ上げ
- 成田空港ミニアンテナショップ
- 有害鳥獣対策



自民党 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市)

- 有害鳥獣問題
- かずさアカデミアパーク
- 道路問題
- 河川の堆積土砂



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

- 拉致問題
- 防災対策
- 教育問題
- 千葉県文書館

六月二十七日(火)



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

- (仮称)三郷流山橋
- つくばエクスプレスの八幡化
- 県立市野谷の森公園
- オリンピック・パラリンピックを活用した教育の推進



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

- 成田国際空港の更なる機能強化
- 成田空港活用協議会
- 北千葉道路
- 県営住宅



民進党 田中 信行 議員 (千葉市若葉区)

- 基金の繰替運用
- 債権管理
- 契約における特例措置



民進党 守屋 貴子 議員 (市川市)

- 女性・子ども施策
- 食品ロス
- 防災対策
- 安全・安心なまちづくり



市民ネット・社民・無所属 小宮 清子 議員 (流山市)

- 温暖化対策と石炭火力発電
- 介護人材確保
- お泊りサービス
- 幕張総合高校の入試

六月二十八日(水)



民進党 石井 宏子 議員 (君津市)

- 君津市周辺の観光振興
- 地域ぐるみのイノベーション
- 河川の環境整備
- 教員勤務実態調査



自民党 阿井 伸也 議員 (大網白里市)

- 「県内水道の統合・広域化」と「汚水処理」
- 国家戦略特区成田市「国際医療福祉大学医学部」
- 「地域医療構想」と次期「千葉県保健医療計画」
- 千葉の道(道路ネットワーク)



自民党 坂下 しげき 議員 (市川市)

- 県民の命を守る医療体制の充実
- 県民の生活を守り、向上させるための行政課題
- 千葉県の農林水産業
- 保育士の確保



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

- 雑品ヤード対策
- 高滝ダム
- 国内外旅行客の県内観光
- 廃校になった学校の有効活用



6月定例県議会 知事あいさつ

●成田空港の機能強化

成田空港の更なる機能強化については、昨年9月以降、100回以上にのぼる住民説明会が開催され、住民の皆様から、夜間飛行制限の緩和の見直しや航空機落下物の抜本的対策、空港周辺の地域振興策などについて、多くの意見が寄せられたところです。

こうした意見を踏まえて、去る5月11日に私と地元市町長の皆様で国土交通大臣と空港会社社長を訪れ、住民の意見に対する具体的な検討を行うよう要請しました。

こうした要請を受け、今月12日に開催された四者協議会においては、国・空港会社から、夜間飛行制限の緩和や環境対策の拡充など機能強化策の見直し案が提案されるとともに、県からも、落下物対策としての成田空港周辺地域独自の対策の創設や地域づくりについて提案したところです。

先日、私自身、空港周辺を視察し、地元の方々や直接意見交換を行い、改めて地域住民の生活環境への配慮が重要であることを実感したところです。

県としても、今回提案のあった内容について、地域住民の方々に丁寧に説明し、理解と協力を得られるよう努めてまいります。

●北千葉道路

北千葉道路については、昨年12月、千葉県道路協議会において、市川から船橋の小室インターチェンジまでの西側区間について、早期整備を図るため、有料道路事業制度を活用した自動車専用道路として整備することが確認されたところです。

私は、今月2日に、北千葉道路建設促進議員連盟や沿線7市の皆様とともに、石井国土交通大臣と面会



し、北千葉道路の早期直轄事業化や都市計画・環境アセスメント手続着手への協力などを要望してまいりました。

議員連盟や沿線市の皆様のお力添えもあり、石井大臣からは、県が都市計画・環境アセスメント手続に着手できるよう国が協力するとともに、国直轄事業と有料道路事業の合併施行の計画とすることについて合意を図りたいなど、大変前向きな言葉をいただき、早速、9日に開催された千葉県道路協議会において、こうした方針を国、県、高速道路会社などで確認したところです。

県としては、早期事業化に向け、速やかに手続に着手できるよう、国や沿線市と連携して取り組んでまいります。

●その他、平成29年度補正予算案、各種条例案など議案についての概要説明がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

予算委員会

予算委員会が6月30日(金)と7月3日(月)の2日間開催され、平成29年6月補正予算案とこれに関係する議案について、横断的かつ多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。



委員長	西田三十五(自民党)	鈴木 衛(自民党)
副委員長	木下 敬二(自民党)	佐野 彰(自民党)
委員	山中 操(自民党)	松下 浩明(自民党)
	江野澤吉克(自民党)	中沢 裕隆(自民党)
	山本 義一(自民党)	五十嵐博文(自民党)
	坂下しげき(自民党)	戸村 勝幸(自民党)
	中村 実(自民党)	矢崎堅太郎(民進党)
	茂呂 剛(自民党)	鈴木 均(民進党)
	網中 肇(民進党)	大崎 雄介(民進党)
	守屋 貴子(民進党)	塚定 良治(公明党)
	赤間 正明(公明党)	ふじしろ政夫(市社無)
	寺尾 賢(共産党)	プリティ長嶋(県民声)
	谷田川充文(千翔会)	
	岩井 泰憲(いんば)	